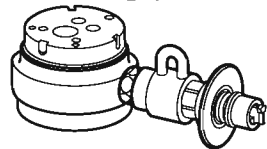


(株)TOTO
TOTO製のシングルレバー式(デッキタイプ)に



食器洗い乾燥機専用

給水・給湯兼用

シングル分岐 CB-SSH8 の取り付け方

※取り付ける前に、必ず裏面の「施工・使用に関する安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取付・使用を行ってください。

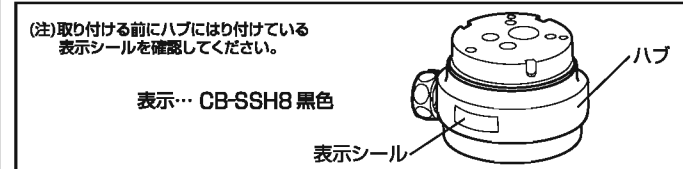
●凍結の恐れのある所への設置は避けください。
●水漏れの恐れがあります。
●給水圧力0.6MPa (6kgf/cm²) 以上ある場合は市販減圧弁にて0.2MPa (2kgf/cm²) 程度に減圧してください。

代表機種
TKGG31EC・TKGG31E
TKGG33EC・TKGG33E

分岐水栓に関するお問い合わせは
サポートセンター 電話 大阪 06 (6974) 7033
E-Mail support@naniwa-ss.co.jp
●水栓メーカーへのお問い合わせはご連絡ください。
お問い合わせは上記サポートセンターまでご連絡ください。

製造元
株式会社ナニワ製作所
〒537-0002
大阪市東成区深江南2丁目5番4号
電話 大阪 06 (6974) 7100

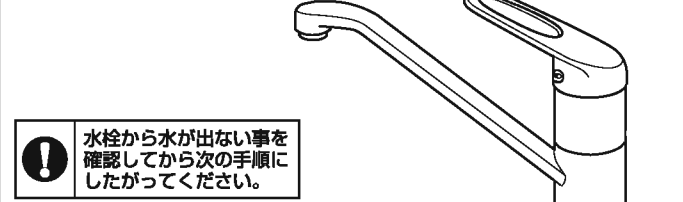
給水の場合は手順通りに取り付けを行ってください。
給湯の場合は裏面の交換方法を良くお読みの上、手などにケガ等をする恐れがありますので、十分注意して取り付け、部品の組み替え作業を行ってください。



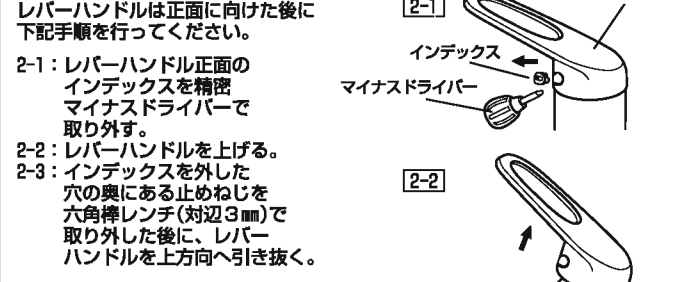
●記載しているイラスト(水栓)は、代表機種であり他の機種とは多少、外観と分解が異なる場合がありますので十分注意して取り付けを行ってください。



1. まず、止水栓または元栓を閉める。

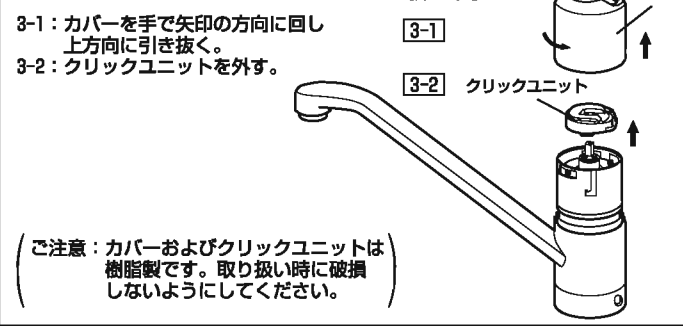


2. レバーハンドルを取り外す。



(ご注意: 取り外した止めねじとインデックスは紛失しないでください。)

3. カバーとクリックユニットを取り外す。



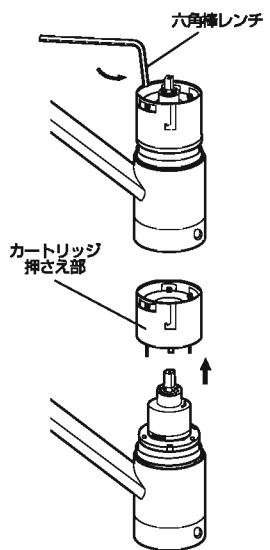
4. カートリッジ押さえを取り外す。

同梱の六角棒レンチ(対辺2.5mm)で3本のねじをゆるめカートリッジ押さえ部を上向きに取り外す。

(ご注意: カートリッジ押さえ部は樹脂製です。取り扱い時に破損しないようにしてください。)

(ご注意: カートリッジ押さえ部を取り外すと同時にカートリッジも水栓金具より外れる場合がございます。落下などによる破損にはご注意ください。)

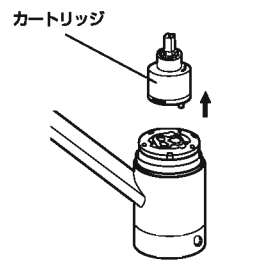
(ご注意: 取り外した3本のねじはお客様で保管ください。分岐水栓を取り外し時には必要になります。)



5. カートリッジを取り外す。

カートリッジを取り除く。水栓金具のシート面にパッキンが残っていれば取り外して頂きカートリッジの下部に取り付けてください。

(ご注意: カートリッジは樹脂製の精密部品です。破損・落下はしないようにしてください。)



6. シングル分岐水栓とカートリッジを取り付ける。

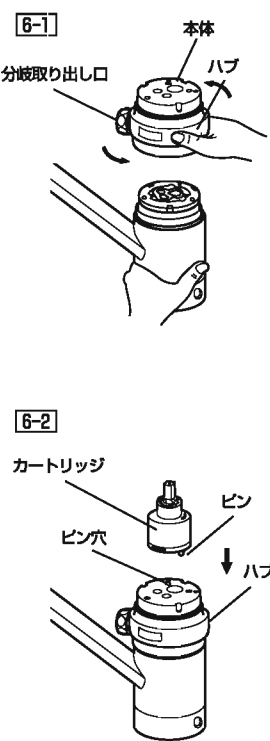
6-1: シングル分岐の本体上下を手で挟み、もう片手でシングル分岐のハブを持ち、ハブを回して分岐取り外し方向(分岐水栓ピン穴が奥側になります)を決める。

(お知らせ: ハブが回らないときには分岐水栓の本体を上(パッキン)方向に少し押し出した後に、本体を再度押し入れて頂くと回りやすくなります。)

6-2: 分岐水栓の下部にあるピンを水栓金具のピン穴にあわせてのせ、カートリッジを分岐水栓の上にピンをあわせながらのせる。

(ご注意: 分岐水栓の下部にパッキンがあるかをお確かめください。)

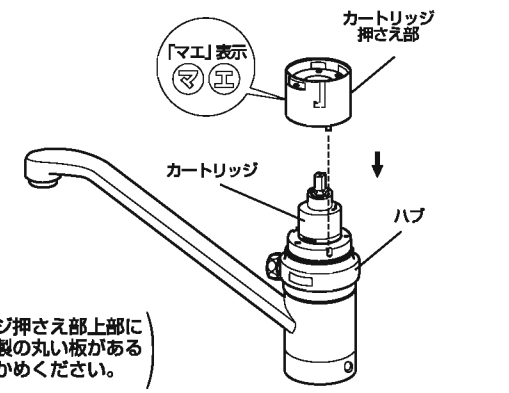
(ご注意: 分岐水栓・カートリッジのピンはきっちりと合わせてください。合わずに取り付けられた場合、破損し使用ができなくなります。)



7. カートリッジ押さえ部を取り付ける。

カートリッジ押さえ部の側面に「マエ」表示があります。「マエ」表示を前方にしなからカートリッジ押さえ部の凸部と分岐水栓の凹部を合わせながら、カートリッジにかぶせてください。

(ご確認: カートリッジ押さえ部上部にステンレス製の丸い板があることをお確かめください。)



8. 3本のねじを締め付ける。

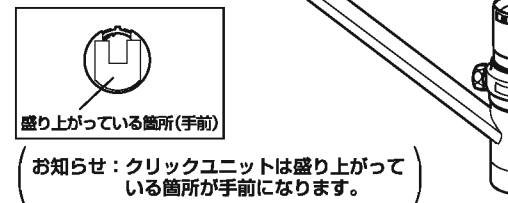
8-1: 同梱のビスにバネワッシャを挿入する。

8-2: 分岐水栓に同梱している3本のねじをカートリッジ押さえ部の穴に挿入し、カートリッジ押さえ部を下側に抑えながら同梱の六角棒レンチ(対辺2.5mm)でしっかりと締め付ける。

(ご注意: 1本づつ締め付けしないでください。ねじが締め付けできなくなります。)

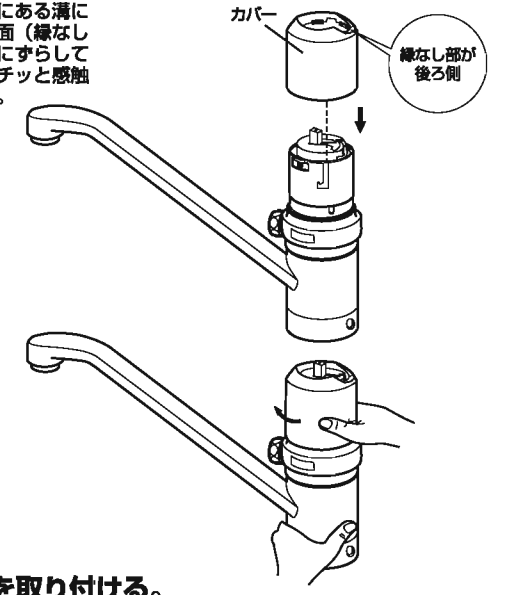
9. クリックユニットを取り付ける。

クリックユニットの裏側にある凸部(3箇所)とカートリッジの凹部(3箇所)を合わせて挿入する。



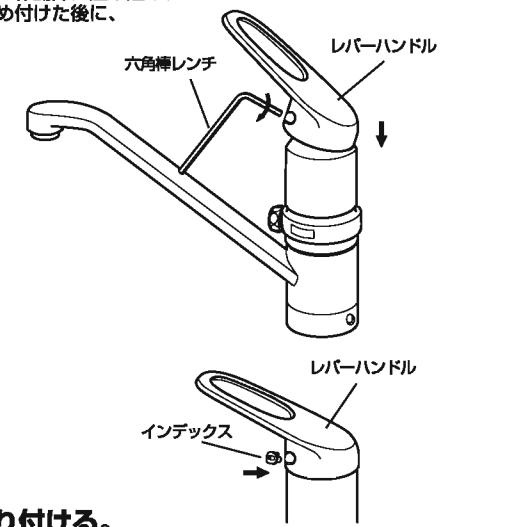
10. カバーを取り付ける。

カートリッジ押さえ部の側面にある溝に合わせるように、カバーの正面(線なし部を後ろ側に)を少し右にずらして挿入し、時計回りの方向にカチッと感触があるまでまわして固定する。



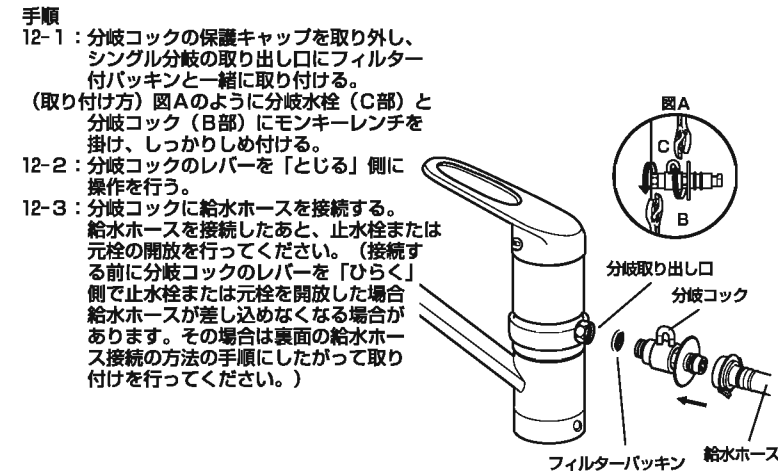
11. レバーハンドルを取り付ける。

レバーハンドルをカートリッジ作動部に差し込み、手順2で取り外したねじを締め付けた後に、インデックスを取り付ける。



12. 分岐コックを取り付ける。

注意: 下記の手順を行う前に接続する側の機器に給水ホース接続を行っているか確認してください。



(ご注意: 分岐コックの開閉操作(ひらく・とじる)をして締め付けた部分かゆるまないか確認してください。)

(ご注意: 取り付け作業終了後、水栓本体及び分岐各部からの水漏れがないか、特に注視して確認してください。)

施工に関する安全上のご注意

- 施工する前に、この「施工に関する安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
- ここに示した[△]注意は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に動作するかを確認の上、使用方法をお客様に説明してください。
- この説明書は、お客様へ保管していただくように依頼してください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない禁止の表示です
	行為を強制する表示です
	分解してはいけない表示です

△ 注意	
	●凍結の恐れのある所への設置はお避けください。 ※水漏れの恐れがあります。
	●施工前に止水栓またはバルブの開放状態のまま分岐水栓・水栓金具等の分解・取り外すような行為は行わないでください。※傷害・物損・故障・水漏れ等の恐れがあります。
	●分岐水栓および同梱されている分岐コックは絶対に分解しないでください。 ※故障・破損・水漏れの恐れがあります。
	●止水栓またはバルブの開放は必ず分岐コックに給水ホースを接続した後、行ってください。
	●水栓金具のセラミックバルブは落としたり、分解しないでください。 ※水漏れ・取り付けができなくなる恐れがあります。
	●カートリッジ・カバーナット・カートリッジ押さえを取り外し、取り付けを行う時には必ず水栓本体が回っていたり、配管がねじれていない事を確認してください。 ※破損・水漏れの恐れがあります。
	●分岐水栓を取り付ける場合、必ず専用の工具等を使って取り付けてください。 ※専用の工具以外で、取り付けされると傷をつける場合があります。
	●分岐水栓取り付け完了後、水栓本体と分岐水栓との間から水漏れが無いかよく確認してください。
	●分岐水栓の改造・仕様変更は行わないでください。 ※分岐水栓・食器洗い機等の故障につながる恐れがあります。
	●浄水器・アルカリイオン整水器をご利用の際には、機器の吐水口と排水ホース口は必ずシンク内に向けてください。※漏水し家財等に損害が生じる恐れがあります。
	●分岐コックは消耗品です。長時間または長期間の不在をされる場合、止水栓または元栓を閉めてください。 ※漏水し家財等に損害が生じる恐れがあります。※防火設備または自動で給水が必要とされる機器に直結している場合、元栓は閉じずに分岐水栓が取り付けられている水栓金具のみが止水できる止水栓のみ閉めてください。
	●井戸水・工業用水または飲料に適さない水等に使用された場合、本品の破損・家財の損害が生じる恐れがあります。
	●お客様の配管設備等により本品を取り付けることで音鳴りが発生する場合があります。流量等を絞って調整頂くと改善する場合がありますが、改善しない場合もあります。
	●水栓金具に水垢または油脂等が固着し分解が困難な場合があります。 水栓金具メーカーとご相談ください。 ※無理に分解しますと水栓金具の破損・水漏れの原因となります。

給水仕様から給湯仕様への変更方法

※出荷時は水が出るようになっています。お湯をご使用になる場合は以下の手順で行ってください。（水をご使用になる場合はそのままお使いください）

分岐水栓パーツ分解（変換）時、内面及び表面又はパッキン等に傷を付けないでください。
※水漏れの恐れがあります。

手順1	手順2	手順3
<p>シングル分岐水栓の外周（ハブ・取り付けナット）を手で持ち、シングル分岐の本体を下から上へゆっくり押し出す。（注意1）</p>	<p>2-1: ラジオペンチでプラグを取り外す。（注意2）</p> <p>2-2: 抜き取ったプラグを水側（シングル分岐の本体側面に刻印のない方）に差し込む。（注意3）</p>	<p>本体が抜け出ます。クッション性のあるものの上で作業をしてください。</p>

- 注意1:** 変換時にシングル分岐本体を上下に動かす場合、ゆっくりと動かしてください。シングル分岐本体に取り付いているパッキンが損傷し、水漏れする恐れがあります。
- 注意2:** 取り出したプラグを紛失しないようにしてください。
- 注意3:** 差し込む方向を間違えないようにしてください。

	プラグに取り付けているパッキンは取り外さないでください。（紛失すると施工ができなくなる恐れがあります。）
	接続する食器洗い乾燥機が、給湯接続か給水接続か仕様を確認してご使用ください。 ※仕様の異なる機器を接続すると故障の原因となります。
	手などにケガをする恐れがあります。十分注意して取り付け、部品の組み替え作業を行ってください。
	食洗機の耐熱温度以上に設定された給湯器をご使用の場合は、必ず給水接続でご使用ください。 ※食器洗い乾燥機の故障の原因となります。
	変換を行われた場合、食器洗い乾燥機を使用すると水栓金具と分岐水栓が熱くなります。 やけどの恐れがあります。ご注意ください。

給水ホース接続方法

（使用中、給水ホースが外れた場合の再接続手順です）

※使用中に給水ホースがはずれた場合、緊急止水弁で水漏れを防ぎます。この時に緊急止水弁に水圧がかかり動かない場合があります。下記の手順にて水圧を抜いてください。

手順1	手順2	手順3
<p>分岐コックのレバーをとじる側に操作を行ってください。</p>	<p>タオルで分岐コックすべてを包み緊急止水弁のA部を図1のように動かしてください。 ※この時、分岐コック内部に残っている水が少量出ます。衣服・家財などが濡れる場合があります。ご注意ください。 ※給湯接続の場合、熱湯がでる恐れがあります。ご注意ください。</p>	<p>給水ホースを分岐コックに取り付けた後、分岐コックのレバー操作をひらく側に操作を行ってください。</p>